

12. 大腸がん患者に対する腹腔鏡下手術の実施率

算式

【分子】 分母対象例のうち、当該入院期間中に「K719-3腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術」又は「K740-2腹腔鏡下直腸切除・切断術」を施行した患者数

【分母】 測定期間内の退院患者のうち「大腸がん」を主病名として入院し、「K7193結腸切除術 全切除、亜切除術又は悪性腫瘍手術」、「K719-3腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術」、「K740直腸切除・切断術」

定義

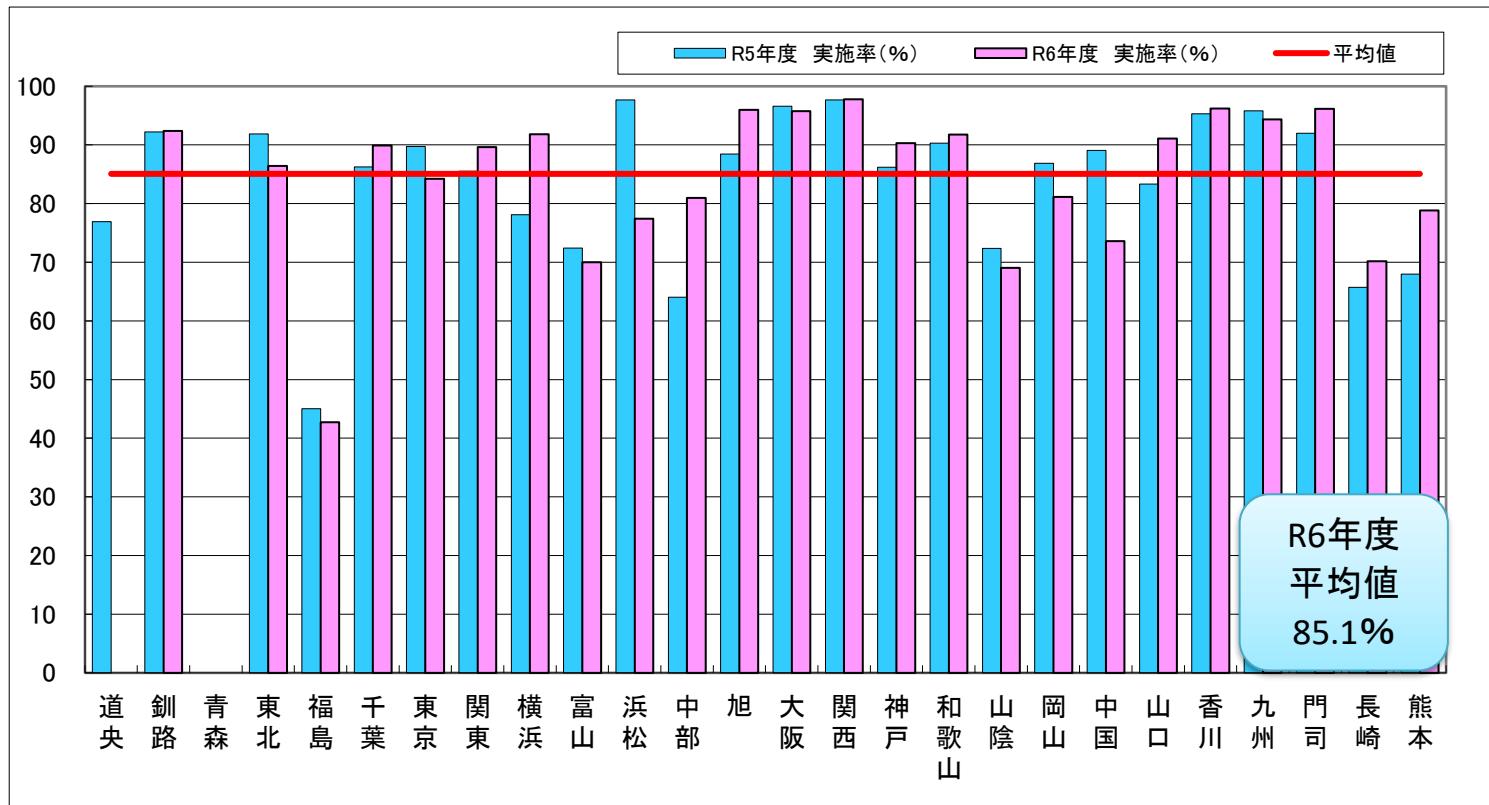
「大腸がん」を主病名として入院し、悪性腫瘍手術を実施した患者のうち腹腔鏡下での手術実施割合

指標の解説

DPCデータより抽出

腹腔鏡下手術の有用性としては、開腹手術と比較し、入院期間の短縮、腸管運動の早期回復、術後の疼痛軽減等が挙げられており、当該手術の実施率により患者の負担軽減、社会復帰への貢献度を評価する。

12. 大腸がん患者に対する腹腔鏡下手術の実施率



No	施設名*	R5年度				R6年度			
		分母	分子	実施率 (%)	(再掲)ロボット支援手術によるもの	分母	分子	実施率 (%)	(再掲)ロボット支援手術によるもの
1	道央	13	10	76.9	-	1	0	0.0	-
2	釧路	103	95	92.2	9	118	109	92.4	22
3	青森	44	0	0.0	-	50	0	0.0	-
4	東北	74	68	91.9	-	59	51	86.4	28
5	福島	111	50	45.0	-	96	41	42.7	-
6	千葉	131	113	86.3	30	149	134	89.9	34
7	東京	39	35	89.7	-	38	32	84.2	-
8	関東	83	71	85.5	-	77	69	89.6	-
9	横浜	96	75	78.1	26	122	112	91.8	17
10	富山	29	21	72.4	-	40	28	70.0	-
11	浜松	43	42	97.7	-	31	24	77.4	-
12	中部	64	41	64.1	-	63	51	81.0	38
13	旭	52	46	88.5	-	50	48	96.0	-
14	大阪	148	143	96.6	111	237	227	95.8	120
15	関西	213	208	97.7	120	226	221	97.8	132
16	神戸	29	25	86.2	-	31	28	90.3	-
17	和歌山	72	65	90.3	-	85	78	91.8	-
18	山陰	47	34	72.3	-	42	29	69.0	-
19	岡山	61	53	86.9	-	53	43	81.1	10
20	中國	73	65	89.0	12	53	39	73.6	30
21	山口	48	40	83.3	-	45	41	91.1	-
22	香川	106	101	95.3	42	131	126	96.2	36
23	九州	72	69	95.8	-	71	67	94.4	-
24	門司	25	23	92.0	-	26	25	96.2	-
25	長崎	35	23	65.7	-	57	40	70.2	-
26	熊本	50	34	68.0	-	52	41	78.8	-
合計		1,861	1,550	83.3	-	2,003	1,704	85.1	-
平均	500床以上	135	124	92.0	-	166	157	95.0	-
	400床以上	79	69	87.2	-	77	68	87.8	-
	300床以上	56	42	74.4	-	66	51	76.9	-
	300床未満	33	17	51.1	-	33	22	65.2	-

*対象症例がない施設については除外